

令和8年9月扶桑町議会定例会 一般質問通告書一覧

9月7日(月) 午前9時30分～

受付番号	通告者氏名	質 問 事 項
1	大河原 光雄	1. 第6次総合計画の策定方針について
2	山田 惇起	1. 看取りについて 2. 指定可燃ごみ袋について
3	高橋 怜央	1. A I時代の学校教育 2. 高齢者のフレイル予防について 3. キャラクターを活用した地域活性化とプロモーションについて
4	近藤 裕	1. 地震時におけるL Pガスの安全性について 2. 小中学校のプールのあり方について 3. グリーンベルト設置計画について
5	片野 泰雅	1. 保育園及び小中学校の猛暑対策について 2. 予算編成に関する考察 3. 都市計画マスタープランについて
6	市橋 英男	1. 介護保険と要介護認定について

9月8日(火) 午前9時30分～

7	佐藤 智恵子	1. 放課後児童クラブの支援体制と利用環境の充実について 2. 扶桑町社会福祉協議会の訪問看護・訪問介護事業の廃止について
8	間宮 幹男	1. 高齢者の現状と課題
9	和田 佳活	1. 公共施設再編計画に向けて、地方債・町債から見る中長期的展望について 2. 自治組織（自治会・地域コミュニティ・子ども会・P T A・老人会等）の現状と今後について
10	丹羽 友樹	1. 生成A Iを活用したデータ分析による持続可能なまちづくりについて
11	荒木 孝三	1. 防災対策について 2. 物価高騰対策について 3. 児童遊園について
12	兼松 伸行	1. シティプロモーションについて

令和 8 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 大河原 光 雄

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 第 6 次総合計画の策定方針について	(1) 第 6 次総合計画は策定するのか ア. 町として総合計画をどのように考えるか。 イ. 第 6 次総合計画を策定する意思はあるか。 ウ. 検討開始の時期、策定機関、策定体制は。 エ. 策定しない場合、町の最上位計画はどのように位置づけるのか。 オ. 公共施設更新・財政運営との整合性をどう確保するのか。 (2) 町の将来像を示す次期計画の方向性について ア. 第 5 次総合計画の成長・課題の検証は。 イ. 町民が理解しやすい形で作成とあるが、町民参加の具体的手法は。 ウ. 総合計画の策定について、町長の現在の考えを伺う。

令和 8 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 山 田 惇 起

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 看取りについて	(1) おくやみコーナーについて ア. 利用者数の推移は。 イ. プライバシーへの配慮状況は。 (2) 看取りに対応する職員の精神的負担について ア. 本町職員が遺体の収容や搬送、埋葬、改葬に立ち会うケースはどれくらいあるか。 イ. 島根県川本町に倣った手当の充実を。 (3) ロードキルへの対応について ア. 路上死亡動物の回収件数と、公費負担額は。 イ. 飼い主がいる動物の照合方法は。
2. 指定可燃ごみ袋について	(1) 可燃性ごみ収集袋取扱要綱の改正を ア. 可燃ごみ処理券の導入を。 イ. ごみ収集袋にも広告掲載の導入を。 (2) 子育て世帯支援としてのごみ収集袋（取手付き）の配布を。 (3) 外袋の素材変更を。 (4) 転入者へのごみ収集袋サンプルの配布を。

令和 8 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 高 橋 怜 央

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. A I 時代の学校教育	(1) 生成A I を授業でどう扱っているか。 (2) 教職員向けのA I 研修は実施しているか。 (3) 子ども達へのA I リテラシー教育をどう進めるか。
2. 高齢者のフレイル予防について	(1) 本町としてフレイルチェックは実施しているか。 (2) 地域サロン等への参加率の向上策は。 (3) 高齢者の外出支援策をどう充実させるか。
3. キャラクターを活用した地域活性化とプロモーションについて	(1) 本町のキャラクターの活用状況は。 (2) スタンプラリーやデジタルイベント等行えないか。 (3) 子ども向け啓発の活用の考えは。 (4) 町の魅力を伝える案内役としての活用はどうか。 (5) ポケふた新設の考えは。

令和 8 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 近 藤 裕

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 地震時におけるＬＰガスの安全性について	(1) 小学校体育館のＬＰガスによる空調施設は安全か。 (2) 災害時に避難所開設とする場合の安全確認は。
2. 小中学校のプールのあり方について	(1) 小中学校における熱中症のリスクと対策は。 (2) 遮熱・遮光シートの設置の考えは。 (3) 扶桑北中学校以外の学校で民間委託の考えは。 (4) 全ての町内小中学校が利用できる室内温水プールの整備検討は。
3. グリーンベルト設置計画について	(1) 本町におけるグリーンベルトの設置基準は。 (2) 町道南山名宮前線のグリーンベルト設置は。 (3) 片側歩道の道路への対応は。

令和 8 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 片 野 泰 雅

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 保育園及び小中学校の猛暑対策について	(1) 保育園、小中学校の猛暑対策について。 (2) 来年度に向けた対策について。
2. 予算編成に関する考察	(1) 決算議会指摘事項の予算編成への反映について。 (2) 補正予算計上の後年度予算への精査について。 (3) 恒常的な補正予算減額対象案件について。 (4) 限られた財源の有効配分について。
3. 都市計画マスタープランについて	(1) 策定根拠と目的について。 (2) 新愛岐大橋開通に伴うアクセス道路整備と周辺交通安全対策について。 (3) 「官民連携」の導入検討について。 (4) 周遊型観光と地域経済循環を生み出す拠点連携・にぎわい創出施策について。 (5) 防災拠点の強化と自然環境保全・環境学習を兼ねた多目的機能の付加について。 (6) 庁内横断的推進体制の確立について。

令和 8 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 市 橋 英 男

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 介護保険と要介護認定について	(1) 介護保険は、いつどこへ申請するのか ア. 介護保険は、どのタイミングでどこへ申請をすればいいのか。 イ. 介護保険以外に、要介護認定を受ける前に利用できるサービスはあるか。 (2) 要介護度は、どう決まるのか ア. 要介護認定の流れと申請日からの所要日数は。 イ. 要介護認定の現状の課題と対策は。 ウ. 要介護認定の迅速化に向けた今後の方針は。

令和 8 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 佐 藤 智恵子

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 放課後児童クラブの支援体制と利用環境の充実について	(1) 放課後児童クラブの現状と課題について ア. 近年の利用児童数、登録児童数の推移。 イ. 長期休暇中における利用状況と課題は。 ウ. 発達特性やアレルギー等、配慮を必要とする児童の状況と支援体制は。 (2) 支援員の確保と育成について ア. 支援員の配置状況と確保の現状は。 イ. 短時間勤務等募集の人材確保の成果と課題は。 ウ. 新たに採用された支援員が、配慮を必要とする児童への対応を適切に行えるよう、研修や情報共有、引き継ぎはどのように行っているか。 (3) 支援員の業務負担軽減について ア. リーダー等が担っている事務業務の状況は。 イ. 事務補助員等の配置、I C T化で支援員が児童に専念できる環境を整える考えは。 (4) 長期休暇中のスペース確保について ア. 学校体育館の活用。 (5) 災害時における児童の安全確保について ア. どのような体制か。
2. 扶桑町社会福祉協議会の	(1) 事業廃止に至るまでの協議・支援実績について。

質 問 事 項	質 問 要 旨
訪問看護・訪問介護事業 の廃止について	(2) 事業存続に向けた町主導の検討・提案を行ったか。 (3) 介護サービス提供体制及び地域包括ケアシステムへの影響評価は。 (4) 利用者への影響と新たなサービス資源の確保について。 (5) 社協との再協議、持続可能なセーフティネットの再構築について。

令和 8 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 間 宮 幹 男

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 高齢者の現状と課題	(1) 高齢者の現状について ア. 本町の高齢化の推移は。 イ. 第9期高齢者実態調査による課題は。 ウ. 令和6年度高齢者実態調査による一般高齢者の結果は。 エ. 次期計画はどのように策定されるか。 (2) 高齢者の課題について ア. 高齢者の1人暮らしと高齢者のみの世帯の対策は。 イ. 本町の認知症対策推進は。 ウ. 住民同士の支え合い施策は。 (3) 後期高齢者医療事務費について ア. 「後期高齢者人間ドック」の増額は。

令和 8 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 和 田 佳 活

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 公共施設再編計画に向けて、地方債・町債から見る中長期的展望について	(1) 下水道事業・会計について ア. 今後の下水道事業計画は。 イ. 下水道事業会計の財源構成及び地方債の状況は。 ウ. 社会資本整備総合交付金の取扱いは。 エ. 地方債の長期的推移は。 オ. 下水道事業の定期的な見直しの考えは。 (2) 一般会計について ア. 町債借入額及び償還額及び基金積立の長期的な計画は。 イ. 下水道地方債、町債のバランスをどのように考えるか。 ウ. 10 数年後の町債借入額の限度額をどのようにとらえるのか。 エ. 将来の公共施設再編に向け、財政面も含め今やれることは何か。 オ. 経常収支比率の改善は。
2. 自治組織（自治会・地域コミュニティ・子ども会・PTA・老人会等）	(1) 自治組織の現状をどのように認識しているか。 (2) コミュニティ会長会議の目的と意義は。 (3) 「協働に向けてのガイドライン」及び、「扶桑町

質 問 事 項	質 問 要 旨
の現状と今後について	の住民活動及び協働の推進に関する条例」と協働のイメージと現在の立ち位置とのギャップは。 (４) 持続可能な自治組織運営及び、まちづくりに向け体系の再構築は。

令和 8 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 丹 羽 友 樹

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 生成A I を活用したデータ分析による持続可能なまちづくりについて	(1) 生成A I の行政業務への活用について ア. 現在、生成A I を行政業務にどのように活用しているか。 (2) 保有するデータの分析、活用について ア. 当局に蓄積されているデータを政策立案に十分に活用できているか。 イ. 複数の部署が保有するデータを横断的に分析する仕組みを構築する考えはあるか。 ウ. A I などを活用して地域の課題や将来的な行政需要を予測する取り組みを検討してはどうか。 (3) データに基づく政策立案とまちづくりについて ア. 客観的なデータに基づいて施策を立案、評価するE B P Mを推進していく考えは。 イ. データ分析を活用した政策立案の考えは。 ウ. 施策実施後の効果を数値で検証し、次の政策に反映する仕組みを構築していく考えは。 (4) D X、生成A I を活用したまちづくりについて ア. D Xや生成A I を業務の効率化にとどめず、住民サービスの向上など行政運営につなげる考えはあるのか。

質 問 事 項	質 問 要 旨
	イ．扶桑町としてデジタルを活用したまちづくりをどのように進めていくのか。 ウ．デジタルを活用したまちづくりのため、人材育成、専門人材の確保、予算、人員体制をどのように考えているか。

令和 8 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 荒 木 孝 三

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 防災対策について	(1) 耐震性貯水槽について ア. 耐震性貯水槽の仕組みは。 イ. 給水としての利用は大丈夫か。 ウ. これ以外での、給水の体制は。
2. 物価高騰対策について	(1) バニラ V i s a ギフトカードの経緯と別の支援 策の考えは。 (2) カードの配付確認は。
3. 児童遊園について	(1) 児童遊園についての考えは。 (2) 児童遊園を安心して遊べる対策は。

令和 8 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 兼 松 伸 行

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. シティープロモーション について	(1) 本町のインナープロモーションの現状は ア. 今後は。 (2) 本町のアウタープロモーションの現状は ア. 取り組みは。 (3) 音楽を取り入れたプロモーション事業の推進は。